

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-G01
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
フレッシュマンセミナー フレッシュマンセミナー			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	上杉 徳彦 岡部 泰幸	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		沼津情報・ビジネス専門学校の学生として、思いやりのある誠実な心（あいさつ・時間・そうじ）を意識し、基本的な生活態度を身につける。				
思考力・判断力・表現力		新たな学習環境に速やかに適合できるよう力を発揮する。				
学びに向かう力		グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生に対しての仲間意識を持つ。				
授 業 の 概 要						
アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情コンセプトを理解する。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席や積極性などで評価する。					出欠席	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
行うアクティビティに応じて教材を作成（自作）						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1 日目オリエンテーション (挨拶指導・自己紹介)			4			
実習 (クラス対抗 50 マス紹介)			2			
2 日目実習 (クラス混合アクティビティ)			6			
3 日目実習 (クラス混合アクティビティ)			8			
学校の説明、学生便覧、教務規定の説明			2			
後藤先生の「心の授業」			2			
クラスごとの企画			6			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-G02	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キャリアディベロップメント I			講義・演習	対面	コンピュータ科		
キャリアディベロップメント I							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	遠藤 茂瑚		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		「話す、伝える、聞く、聴く、質問する、理解する、受け止める」という知識とそれを表現する技能を養う。					
思考力・判断力・表現力		自分を見つめ、自分を知るために自己分析を行い、社会の中での的確に役割を果たすための判断力・表現力を身につける。					
学びに向かう力		間近に迫った就職活動、社会人生活に自信を持って臨めるような力を身につける。					
授 業 の 概 要							
話す、伝える、聞く、聴く、質問する、理解する、受け止める力を演習も交えて養い、インターンシップに臆せず取り組めるよう学習していく。 自分を見つめ、自分を知るために自己分析を行い、その後の就職活動、社会人生活に自信を持って臨めるよう進めていく。							
成 績 評 価 基 準							
試験の得点・課題・授業への意欲の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は質問への理解度と授業に対する意欲を併せて判定する。					筆記試験	40%	
					課 題	20%	
					日常評価	40%	
使用テキスト・教材							
講師が提供する資料							
授業内容・授業計画							
1. ガイダンス・自己紹介 ・社会に必要なコミュニケーションとは ・仕事とは何か			時間数	4. 表現力の強化 ・伝えることを意識する ・プレゼンテーション実習 ・自己PRを伝える ・面接の練習			時間数
			2				2
2. 自己理解 ・自己分析で自分の強みを知る ・振り返りと自分を知る ・自己PRの作成			4				2
			2				4
			2				
3. 効果的な話し方 ・聞く力、話す力、質問する力 ・良好な人間関係			4				
			2				
その他				関連科目			
				教養ゼミⅡ			

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-G03	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キャリアディベロップメントⅡ			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	中嶋 久美子		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		社会人としての心得、スキルを学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		ビジネス社会で働くために必要な社会人基礎力理解し、あらためてビジネスマナーのスキルを学ぶ。					
学びに向かう力		自身の進路に向けてより明確に動き出せるように意識を高めたい。					
授 業 の 概 要							
前年度の学習を踏まえ、さらに理解を深める。実践に活かせるよう、課題、演習、グループワークを取り入れ、積極的に参加できるようにする。							
成 績 評 価 基 準							
期末試験では授業で学んだことをどれだけ知識として得られたかの確認。 授業態度、意欲を重視する。					筆記試験	40%	
					課 題	20%	
					日常評価	40%	
使用テキスト・教材							
ビジネスマナー／有限会社グロー 課題（自作） パワーポイント（自作）							
授業内容・授業計画							
1. キャリアディベロップメントとは？ ・キャリアデザインとの違い ・ビジネスマナーとは			時間数 2	5. 電話応対 ・応対の基本 伝言メモ			時間数 4
2. 立ち居振る舞い ・第一印象 姿勢 おじぎ 挨拶 ・歩き方 表情 身だしなみ			4	6. 接遇の心得 ・来客応対 ・席次 ・紹介、名刺交換			4
3. 言葉づかい ・不快感を与えない話し方 ・敬語表現			6	7. ビジネス文書 ・社内文書 社外文書 ・ビジネスメール			4
4. 報告・連絡・相談			4	8. 職業人能力 ・社会人基礎力			2
その他				関連科目			
				就活ゼミⅡ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-G04	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
就活ゼミ I			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	上杉 徳彦 岡部 泰幸		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。					
思考力・判断力・表現力		まずは一般的な就職活動を素直に理解することが大切。					
学びに向かう力		就職活動の流れを理解し、社会人としての基礎的なビジネスマナーを身につける。					
授 業 の 概 要							
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席や積極性などで評価する。					出欠席	50%	
					学習意欲	50%	
使用テキスト・教材							
Career Guidebook 2026 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)							
授業内容・授業計画							
			時間数				
働くということ・社会人としての自覚			2				
自己分析・自分の魅力探し			2				
就職活動の流れと本校における			2				
提出書類の確認・就職コーナーの活用							
Web サイトでの情報収集			2				
業界研究・企業研究			2				
求人票の見方、給与・保険制度			2				
職種研究			2				
筆記試験対策			2				
会社説明会			2				
電話、面接での問い合わせ			2				
履歴書の書き方			4				
面接の仕方			4				
内定後の過ごし方			2				
その他				関連科目			
				就職活動ゼミⅡ、キャリアディベロップメントⅠ			

				年 度	2025 年度
シラバス (授 業 概 要)		時間数は4 5分換算		科目コード	C-G05
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ジョブゼミ 就活ゼミⅡ			講義・演習	対面	コンピュータ科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	石野 真明 吉田 文昭
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につけた上で、より実践的な手法や内定後の流れについても理解し実施に繋げる。			
思考力・判断力・表現力		実践的な理解力・判断力・表現力を習得したい。			
学びに向かう力		即実践に繋げるため真摯に取り組み確実に身につけてほしい。			
授 業 の 概 要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体ついて学ぶことをバランスよく行う。					
成 績 評 価 基 準					
出欠席や積極性などで評価する。					出欠席 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
Career Guidebook 2026 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
科内交流会			2		
小論文とは (小論文の書き方)			2		
文章の読み書きの規則			2		
小論文演習			4		
ハローワーク登録			2		
就職に関するグループワーク			2		
電話対応演習			2		
自己分析			2		
マナーと企業研究			2		
書類送付、メールの送信			2		
実践的プレゼンテーション			2		
SPI 練習			6		
その他			関連科目		
			就職活動ゼミⅠ、キャリアディベロップメントⅡ		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-G06
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
キャリアデザイン 教養ゼミ I			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	各担当	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げる。				
思考力・判断力・表現力		講座ごとに異なる。				
学びに向かう力		積極的に他科の学生ともコミュニケーションを図る。				
授 業 の 概 要						
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身に付けることを目的に開講する。						
成 績 評 価 基 準						
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					講座ごとに設定	
使用テキスト・教材						
各講座による。						
授業内容・授業計画						
＜開講科目＞ ・DTP ・お菓子作り ・パーソナルカラー ・一般常識 ・英会話 ・イラスト入門 ・ゼミナール（中国語） ・インタビュー ・心理学 ・ワープロ実務（準1級） ・ワープロ実務（1級以上） ・POPデザイン			時間数 各 15	・ゼミナール（ピアノ入門） ・ゼミナール（体育Ⅰ） ・ゼミナール（体育Ⅱ） ・ゼミナール（運転と安全Ⅰ） ・ゼミナール（演劇） ・ゼミナール（インテリア植物の育て方）		時間数
その他				関連科目		

					年 度	2025 年度
シラバス (授 業 概 要)			時間数は4 5分換算		科目コード	C-G07
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
キャリアゼミ 教養ゼミⅡ			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	込山まゆみ	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		コミュニケーションの基礎能力を磨き身につける。				
思考力・判断力・表現力		コミュニケーションの大切さを理解し、挨拶、姿勢、話すこと、伝えること、聞くこと、質問することを養う学びから力をつける。				
学びに向かう力		グループワークを取り入れ、他と協調しながら自分を主張する力をつける。				
授 業 の 概 要						
インターンシップまではコミュニケーションの大切さを理解し、挨拶、姿勢、話すこと、伝えること、聞くこと、質問することを養う学びを中心に、グループワークを取り入れながらコミュニケーションの基礎能力を身につける。 インターンシップ後はさらなるコミュニケーション能力を磨いていく。						
成 績 評 価 基 準						
試験の得点・課題・授業への意欲の評価点を総合評価したうえで決定する。課題の評価は質問への理解度と授業に対する意欲(自分だったらどうするか?と考えられているか)を併せて判定する。					筆記試験	40%
					課 題	20%
					日常評価	40%
使用テキスト・教材						
コミュニケーション技法 (株式会社ウィネット) 課題 自作						
授業内容・授業計画						
1. 自己紹介・コミュニケーションを学ぶ意味			時間数	2	6. 電話応対	
2. コミュニケーションの基本 ・視覚情報の大切さ				2	・電話の受け方、かけ方 ・練習機で実技	
3. あいさつ・お辞儀・返事 ・行動に込められた心を知る ・心を態度で表す(実技)				4	7. 聞くことの重要性	
4. 声を磨く				4		
5. 正しい日本語を身につける(敬語)				6		
その他				関連科目		
毎時間発声練習を重ねていく				キャリアディベロップメントⅠ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-G08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キョウウゼミⅢ 教養ゼミⅢ			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	各担当		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		各科の専門だけでなく幅広い教養を身に着け、学習の視野を広げる。					
思考力・判断力・表現力		講座ごとに異なる。					
学びに向かう力		積極的に他科の学生ともコミュニケーションを図る。					
授 業 の 概 要							
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身に付けることを目的に開講する。							
成 績 評 価 基 準							
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。						講座ごとに設定	
使用テキスト・教材							
各講座による。							
授業内容・授業計画							
＜開講科目＞ ・DTP ・お菓子作り ・パーソナルカラー ・一般常識 ・英会話 ・イラスト入門 ・ゼミナール（中国語） ・インタビュー ・心理学 ・ワープロ実務（準1級） ・ワープロ実務（1級以上） ・POPデザイン			時間数 各 15	・ゼミナール（ピアノ入門） ・ゼミナール（体育Ⅰ） ・ゼミナール（体育Ⅱ） ・ゼミナール（運転と安全Ⅰ） ・ゼミナール（演劇） ・ゼミナール（インテリア植物の育て方）			時間数
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-G09	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キャリアデザイン 教養ゼミⅣ			講義・演習 実習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	石野 真明 吉田 文昭		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		システム開発事例の教材を使い、要件定義、外部設計、内部設計を中心にシステム開発の上流工程を演習形式で学習する。					
思考力・判断力・表現力		学んで習得してきた知識・技術を総合的に活用する力を身につける。					
学びに向かう力		座学で学んできた知識や技術を融合させ活用することの難しさを経験し、卒業研究に繋げてほしい。					
授 業 の 概 要							
オブジェクト指向プログラム言語での開発に用いられている“UML”を使い、要件定義～基本設計までの流れを演習にて確認する。							
成 績 評 価 基 準							
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。					レポート	20%	
					課 題	60%	
					日常評価	20%	
使用テキスト・教材							
オリジナルテキスト「システム開発演習」							
授業内容・授業計画							
			時間数				
システム開発の概要			2				
基本設計			8				
外部設計			8				
内部設計			6				
プログラム設計			6				
その他				関連科目			
				システム開発総合演習			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-G10	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
コミュニケーションカレッジ コミュニケーション活動Ⅰ			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	上杉 徳彦 岡部 泰幸		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。					
思考力・判断力・表現力		協調・協力・社会性等を育みたい。					
学びに向かう力		郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果を期待する。					
授 業 の 概 要							
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席、授業態度等。					出欠席	50%	
					学習意欲	50%	
使用テキスト・教材							
資料配布あり。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
入学式			4				
企業講演会			4				
終業式・前期成績発表			4				
始業式・防災訓練			2				
資格表彰式			2				
新年始業式			2				
卒業研究発表会（系）			4				
後期成績発表			2				
卒研研究発表会（全体）			4				
進級発表			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-G11
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーションカレッジ コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	石野 真明 吉田 文昭	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。				
思考力・判断力・表現力		協調・協力・社会性等を育みたい。				
学びに向かう力		郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果を期待する。				
授 業 の 概 要						
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンス						
成 績 評 価 基 準						
出欠席状況で評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
資料配布あり。						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
始業式、卒業式			8			
ハイキング			16			
卒業研究発表会			12			
就職ガイダンス			14			
研修・卒業研究準備			40			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR01	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
パソコンリテラシティ パソコン利用技術			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	2	上杉 徳彦 岡部 泰幸		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		パソコンの利用に慣れるために実施する。 CompTIA IT Fundamentals (ITF+) 合格を目指す。					
思考力・判断力・表現力		将来 IT 技術者となるための基本知識・技術を確実に身につける。					
学びに向かう力		PCの基本操作習得から資格取得まで意欲を持って取り組んでほしい。					
授 業 の 概 要							
入学後、校内で使用するノート PC、WiFi 等の環境は一定のルールのもと運用されることになる。 その接続方法やコンピュータの中にはどのような部品があるのか、プリンタなどの外部の装置、メールの使い方などを学び、CompTIA ITF+の合格へと繋がります。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席及び学習意欲などで評価。					学習意欲	50%	
					出 欠 席	50%	
使用テキスト・教材							
CompTIA ITF+ IT Fundamentals 問題集と解説 (エミール出版)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
パソコンの初期設定、使用上の注意			4				
インターネット接続、プリンタ設定			2				
アプリケーション設定			2				
コンピュータと OS			4				
モバイルデバイス			2				
ストレージ			4				
CPU とメモリー			4				
メンテナンスとトラブルシューティング			4				
チェック問題と検定対策			2				
模擬試験			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	C-G10
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
エディティンぐHTML			講義・演習	対面	コンピュータ科
HTML					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	30	1	中村 知枝美
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		HTML を使用して Web ページを作成する方法を学習する。 スタイルシート (CSS) を使用してバランスのとれたページを作成する。			
思考力・判断力・表現力		創造性を育み、実現させるための知識・技術の基盤を築く。			
学びに向かう力		知的好奇心を発揮し着想を実現させる力をつける。			
授 業 の 概 要					
ブラウザで確認しながら HTML・CSS を記述していく。 HTML だけで書かれた単調なページから文字や画像を見やすく配置し、配色にも気を付ける。 一つのお店の Web ページを完成させる。					
成 績 評 価 基 準					
課題提出					課 題 100%
使用テキスト・教材					
スラスラわかる HTML&CSS のきほん (SB クリエイティブ株式会社)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
HTML の基本書式			2		
見出し、段落、リスト			2		
画像挿入			2		
リンク			2		
テーブル (表)			2		
CSS			10		
フロート、フレックスボックス			2		
フォーム			2		
課題			6		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	C-SR03
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
プレゼンテーション技術			講義・演習	対面	コンピュータ科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	1	中村 知枝美
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		プレゼンテーションを理解し、報告・提案・説得など社会人として適切なプレゼンテーションができるようになる。			
思考力・判断力・表現力		プレゼンに効果的なスライドを作成する力と、それに合ったシナリオの作成能力を身につける。			
学びに向かう力		積極的・意欲的にプレゼンに参加する姿勢をみせる。			
授 業 の 概 要					
・視覚化・図解化のツールとしてパワーポイントを使用する。 ・プレゼンの構成を学ぶ。 ・話し方や動作などを学ぶ。					
成 績 評 価 基 準					
プレゼンテーション（発表・スライド）					プレゼン 100%
使用テキスト・教材					
プリント配布、パワーポイントスライド資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. プレゼンテーションの心得			2		
2. PowerPoint の基本操作			2		
3. プレゼンテーションのテクニック			4		
4. グループ別プレゼンテーション			8		
・情報収集 ・資料収集					
・視覚資料作成 ・リハーサル					
5. グループプレゼン発表・評価・反省			4		
6. 個人プレゼンテーション			6		
・情報収集 ・資料収集					
・視覚資料作成 ・リハーサル					
7. 個人プレゼン発表・評価・反省			4		
その他			関連科目		
			・就活ゼミⅡ、教養ゼミⅣ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SR04	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヒョウサンキョ 表計算基礎			実習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	山本 葉子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		表計算（Excel）の基礎を学び、就職後の実務に役立つようにする。 MOS Excel の合格を目指す。					
思考力・判断力・表現力		まずは表計算の基本を身につけることに集中する。					
学びに向かう力		基本技術を習得するための粘り強さが求められる。					
授 業 の 概 要							
Excel の基礎を身につけ、MOS 合格を目指す。							
成 績 評 価 基 準							
課題提出 期末試験（実技）結果					筆記試験 課 題	70% 30%	
使用テキスト・教材							
30 時間でマスター EXCEL2019							
授業内容・授業計画							
Excel の概要			時間数	グラフ作成			時間数
データ入力・削除			2	棒・折れ線・円			5
表作成				データベース			
書式設定・罫線・計算			4	並び替え・フィルタ・集計			7
関数				MOS Excel			
SUM・AVERAGE・MAX・MIN			8	第1章 ワークシートやブックの作成			
COUNT・COUNTA・RANK・IF				と管理			2
AND・OR・ネスト・ROUND・INT				第2章 セルやセル範囲の作成			2
ROUNDUP・ROUNDDOWN							
SUMIF・AVERAGEIF							
COUNTIF・文字列操作							
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	C-SR05
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ヒョウケイノホウ 表計算応用			講義・演習 実習	対面 メディア	コンピュータ科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	山本 葉子
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		前期の表計算基礎を基に、MOS Excel 合格のために模擬問題を行う。			
思考力・判断力・表現力		問いに対する的確に理解・判断して正答を作成する総合力を身につける。			
学びに向かう力		蓄えた知識を時間内に発揮する集中力が求められる。			
授 業 の 概 要					
MOS Excel 合格を目指すために模擬問題を行う。					
成 績 評 価 基 準					
MOS Excel 結果。					試 験 100%
使用テキスト・教材					
MOS 攻略問題集 Excel365&2019					
授業内容・授業計画					
MOS Excel			時間数		時間数
第3章 テーブルの作成			2		
第4章 数式や関数の適用			2		
第5章 グラフやオブジェクトの作成			2		
模擬練習問題 1, 2			4		
模擬テスト 1～5			10		
模擬テスト 復習			10		
模擬テスト 1～5 を合格点に達するまで何回も行う					
その他				関連科目	
				表計算基礎、表計算アプリケーション	

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度		
時間数は45分換算				科目コード		C-SR06		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス			
コンピュータ概論			講義・演習	対面	コンピュータ科			
コンピュータ概論								
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	上杉 徳彦 岡部 泰幸			
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)								
知識・技能		コンピュータ内部のデータ表現を学習する。学習をとおして基数変換、補数表現、浮動小数点演算、シフト演算ができるようになる。						
思考力・判断力・表現力		コンピュータ技術者の最も基本的な知識。忍耐を持って粘り強く取り組んで正確な知識を身につける。						
学びに向かう力		IT 技術の根底となる知識であることを理解して真摯に取り組むことを求める。						
授 業 の 概 要								
コンピュータ内の中心を成している2進数を中心として、2進数、8進数、16進数について学習し、基数変換を学ぶ。また補数の考え方、小数点のある演算、シフト演算などについて学習する。								
成 績 評 価 基 準								
期末試験を中心に、出欠席を加味して評価する。					筆記試験 80% 課 題 20%			
使用テキスト・教材								
IT ワールド (インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
基数 (10進数、2進数、8進数、16進数)			4					
基数と基数変換			6					
データの表現形式 (文字データ)			2					
ゾーン10進数、パック10進数			2					
固定小数点数、符号付き絶対値表現			2					
補数表現			4					
浮動小数点数			2					
誤差			2					
シフト演算：算術シフト、論理シフト			4					
まとめ			2					
その他				関連科目				
コンピュータの基本的なことを学習します。				ハードウェア、ソフトウェア				

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SR07	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
アルゴリズム			講義・演習	対面	コンピュータ科		
アルゴリズム							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	60	4	上杉 徳彦		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		プログラムを作成するうえで必要となるロジックの作り方を学習する。					
思考力・判断力・表現力		対象とする事象の進捗をじっくり見極めその動作を分解し、再び組み立てて構築することで表現する力を身につける。					
学びに向かう力		客観的に物事を見て冷静に分析し判断する意欲と集中力が求められる。					
授 業 の 概 要							
初めに基本的な流れ図記号から学習し、変数への代入方法、大小を比較する処理の分岐方法を学習します。次に繰り返し処理、2重ループの作り方を学習します。さらに配列処理を学習します。これには1次元配列、2次元配列とあります。さらに配列を用いた文字列処理、探索処理を学習します。最後に探索・整列について学習します。							
成 績 評 価 基 準							
期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠状況で評価します。						筆記試験	70%
						課 題	30%
使用テキスト・教材							
データ構造とアルゴリズム、IT ワールド (インフォテック・サーブ) 演習課題あり							
授業内容・授業計画							
アルゴリズムの基礎 流れ図、基本制御構造 疑似言語、アルゴリズムの評価基準 データ構造 配列、ハッシュ表 リスト、スタック、キュー 木構造 探索アルゴリズム 線形探索、ハッシュ探索、2分探索			時間数	整列アルゴリズム 基本選択法、ヒープ 基本交換法、シェルソート 文字列探索 総当たり、KMP、ボイヤムア グラフ処理 グラフ理論 経路探索			時間数
			6				8
			8				2
			4				2
その他				関連科目			
単元ごと演習課題を実施する。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SR08
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ハードウェア			講義・演習	対面	コンピュータ科	
ハードウェア						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	中村 知枝美	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		基本的な装置の名称・仕組み等を理解し、IT 技術の進歩の経緯についての正確な知識を身につける。				
思考力・判断力・表現力		先人が作り上げてきた IT 技術の成果を素直に理解し、継承・進化させてゆく思いを持って学習してほしい。				
学びに向かう力		一步一步確実に理解して自分のものとし、更に意欲的に掘り下げる探求心を持って取り組むことが必要。				
授 業 の 概 要						
基本情報技術者試験(科目 A) 合格を目標とし、基本的な入出力装置、補助記憶装置、インターフェースなど広範囲に渡って学習する。更に掘り下げてゆくと高度情報処理試験でも中心となる分野である。						
成 績 評 価 基 準						
授業中の小テスト、授業態度、期末試験を元に総合評価した上で決定する。					筆記試験	80%
					小テスト	20%
使用テキスト・教材						
IT ワールド (第 1 部 ハードウェア 第 4 節～第 5 節) (第 2 部 情報処理システム) (インフォテック・サーブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ハードウェア						
・ 補助記憶装置			4			
・ 入出力装置			4			
2. 情報処理システム						
・ 情報処理システムの処理形態			2			
・ 高信頼化システムの構成			4			
・ 情報処理システムの評価			8			
・ ヒューマンインタフェース			2			
・ マルチメディア			4			
期末試験			2			
その他				関連科目		
				コンピュータ概論、ソフトウェア		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	C-SR09
授 業 科 目 名		授業形態		学科・コース	
ソフトウェア ソフトウェア		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能	基本的なソフトウェアの分類・名称・仕組み等を理解し、IT 技術の進歩の経緯についての正確な知識を身につける。				
思考力・判断力・表現力	先人が作り上げてきた IT 技術の成果を素直に理解し、継承・進化させてゆく思いを持って学習してほしい。				
学びに向かう力	一步一步確実に理解して自分のものとし、更に意欲的に掘り下げる探求心を持って取り組むことが必要。				
授 業 の 概 要					
基本情報技術者試験(科目 A) 合格を目標とし、オペレーティングシステム、システム管理、開発言語、ファイル管理など広範囲に渡って学習する。更に情報処理試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにして下さい。					
成 績 評 価 基 準					
筆記試験、出欠席で評価します。				筆記試験	80%
				出 欠 席	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第3部ソフトウェア) (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
ソフトウェアの分類①	時間数	2	ファイルとレコード	時間数	2
ソフトウェアの分類②		2	ファイルのアクセス方式		2
ソフトウェアライセンスによる分類		2	ファイル編成方式		2
ジョブ管理		2	小型コンピュータのファイル管理		2
タスク管理、ディスパッチャ		2	バックアップ		2
記憶管理、その他の管理機能		2	アプリケーションの基本と種類		2
プログラム言語		2	アプリケーションの管理、チェック問題		2
言語プロセッサ、サービスプログラム、プログラムの属性		2			
その他			関連科目		
			コンピュータ概論、ハードウェア		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	C-SR10
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
データベース概論 データベース基礎			講義・演習	対面	コンピュータ科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	上杉 徳彦
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		基本的なデータベースの仕組み・名称等を理解し、SQL 言語についても正確な知識を身につける。			
思考力・判断力・表現力		正規化されたデータベースの構築方法や SQL 言語の記述の基本を学ぶことで、正しいデータ操作の基礎を身につける。			
学びに向かう力		一步一步確実に理解して自分のものとし、データという資産をどのように加工して有効活用してゆくかを考える未来に繋げたい。			
授 業 の 概 要					
基本情報技術者試験(科目 A) 合格を目標とし、データベース管理や SQL 言語など広範囲に渡って学習する。更に情報処理試験でも中心となる分野である。 一步一步確実に理解し、自分のものにしてほしい。					
成 績 評 価 基 準					
筆記試験、出欠席で評価する。					筆記試験 80% 出 欠 席 20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第 4 部データベース) (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
データベースの設計			6		
データベース管理システム			4		
SQL データ定義			4		
SQL データ操作			8		
分散データベース			2		
基本情報技術者試験過去問題試験			4 2		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR11	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
データベースセキュリティ データベース設計演習			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	清 慶治		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		リレーショナルデータベースである Access の基本的な使い方を学習する。					
思考力・判断力・表現力		テーブル設計やデータ登録、加工等を習得することは今後の活動にメリットが大きい。					
学びに向かう力		しっかり基本を習得して以降の各分野での活動の基盤の一部としたい。					
授 業 の 概 要							
アクセスによるテーブル定義の方法、クエリを用いた情報の抽出方法、フォームの使用方法、レポートの作成方法、マクロの使い方など学習する。							
成 績 評 価 基 準							
単元ごとに課題提出があり、その提出状況により評価する。						課 題 100%	
使用テキスト・教材							
できる Access2019 (インプレス)							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
テーブルの作成			2				
クエリの作成			4				
フォームの作成			4				
レポートの作成			4				
リレーショナルデータベースの作成			4				
複雑な条件のクエリ			4				
自由なレイアウトのレポート			4				
マクロの利用			4				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SR12	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
システム開発基礎			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	寺尾 真二		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Web アプリケーション開発について学習する。					
思考力・判断力・表現力		基本情報技術者試験(科目 A)において頻繁に出題される分野なので、整理しながら正確に理解して有効活用できるように努めてほしい。					
学びに向かう力		実務経験の無い学生にとっては難解な語句が多く理解し難い科目であるが、日々その重要性が高まっている大切な分野であるので粘り強く取り組んでほしい。					
授 業 の 概 要							
基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解する。							
成 績 評 価 基 準							
学期末試験の成績で評価する。						筆記試験	100%
使用テキスト・教材							
IT 戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)							
授業内容・授業計画							
第3部 情報システム戦略			時間数				時間数
情報システム戦略の概要			2	ソフトウェア実装プロセス			
情報システム戦略のプロセス				保守・廃棄プロセス			
業務プロセスとソリューションビジネス				ソフトウェア開発技術			8
情報システム企画				ソフトウェア開発手法			
企画プロセス／開発計画			2	ソフトウェア設計手法			
要求定義／分析				システム開発環境			4
調達				知的財産適用管理			
第4部 開発技術				開発環境管理			
システム開発技術			12	構成管理・変更管理			
システム開発プロセス				Web アプリケーション開発			2
				Web アプリケーション			
				Web アプリケーション開発			
その他				関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。				・IT 戦略とマネジメント			

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SR13
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
アイティセリヤクマネジメント IT 戦略とマネジメント			講義・演習 実習	対面 メディア	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	鈴木 孝昌	
授業の目的・目標（科目のねらい）						
知識・技能		この授業では、企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて学習する。				
思考力・判断力・表現力		基本情報技術者試験(科目 A)において頻繁に出題される分野なので、整理しながら正確に理解して有効活用できるように努めてほしい。				
学びに向かう力		実務経験の無い学生にとっては難解な語句が多く理解し難い科目であるが、日々その重要性が高まっている大切な分野であるので粘り強く取り組んでほしい。				
授業の概要						
基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる基礎知識と応用力を習得する。						
成績評価基準						
学期末試験の成績で評価する。					筆記試験	100%
使用テキスト・教材						
IT 戦略とマネジメント（インフォテック・サーブ）						
授業内容・授業計画						
第1部 企業と法務			時間数	第6部 サービスマネジメント		時間数
企業活動			4	サービスマネジメントの概要		4
企業会計			2	サービスマネジメントの手法		2
法務と標準化			6	期末試験		2
第2部 経営戦略マネジメント						
経営戦略マネジメント			2			
ビジネスインダストリ			2			
第5部 プロジェクトマネジメント						
プロジェクトマネジメントの概要			2			
サブジェクトグループ			4			
その他				関連科目		
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。				・システム開発基礎		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SR14	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ネットワーク基礎			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		基本情報技術者試験(科目 A)合格を目指す。					
思考力・判断力・表現力		集中力・忍耐力を発揮して正しく理解し記憶する。					
学びに向かう力		資格取得に向けた学習意欲を持って取り組む。					
授 業 の 概 要							
覚えることが多い科目ですが、ネットワークの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。							
成 績 評 価 基 準							
前期末試験及び出欠席状況で評価する。					筆記試験	50%	
					出 欠 席	50%	
使用テキスト・教材							
IT ワールド (第5部 ネットワーク) (インフォテック・サーブ) 体験しながら学ぶ ネットワーク技術入門 (ソフトバンククリエイティブ)							
授業内容・授業計画							
ネットワークの種類と特徴、ネットワークの基本構成			時間数	ネットワーク管理手法			時間数
			2	ネットワークの概念、インターネットの接続方式と機器・ケーブル			2
ネットワークの基礎技術、伝送制御手順			2	ワイヤレスネットワーク、ネットワークの接続形態			2
通信サービス、ネットワークアーキテクチャとは			2	ネットワークのプロトコル、ネットワークのコマンド			2
OSI (開放型システム間相互接続)、TCP/IP			2	ネットワーク設定、モバイル接続・無線接続・有線接続			2
LAN の基礎技術、その他の LAN 技術			2	通信の暗号化とネットワークストレージ			2
TCP/IP プロトコル、インターネットの基本構成			2	付録：TCP/IP			2
インターネットサービス、ネットワーク運用管理			2	チェック問題他			2
その他				関連科目			
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。				・情報セキュリティ			

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	C-SR15	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ジョナルセキュリティ 情報セキュリティ			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄	
授業の目的・目標（科目のねらい）						
知識・技能		基本情報技術者試験（午前）合格を目指す。				
思考力・判断力・表現力		集中力・忍耐力を発揮して正しく理解し記憶する。				
学びに向かう力		資格取得に向けた学習意欲を持って取り組む。				
授 業 の 概 要						
覚えることが多い科目ですが、セキュリティの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。						
成 績 評 価 基 準						
前期末試験及び出欠席状況で評価する。					筆記試験 出 欠 席	50% 50%
使用テキスト・教材						
IT ワールド（第6部 セキュリティ）（インフォテック・サーブ） 絵でわかるサイバーセキュリティ（講談社）						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
情報セキュリティの概念 資産、脅威（人的・技術的・物理的）、脆弱性			2	情報セキュリティの3大要素 マルウェア	2	
情報セキュリティ技術 暗号化技術、認証技術、PKI			2	Windows Update、パスワードマネジメント	2	
情報セキュリティ管理 情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント			2	ソフトウェアファイアウォールの有効化と無効化、アンチマルウェアの有効・無効化とアラート	2	
情報セキュリティ機関・評価基準 情報セキュリティ機関・評価基準			2	利用していない機能の無効化、オープンWi-Fi	2	
人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策			2	タイムアウトとロックオプション、セキュアな接続やWebサイトの確認	2	
物理的セキュリティ対策			2	IEのセキュリティ機能、Webブラウザとプラグインのアップデート	2	
セキュリティ実装技術① セキュアプロトコル、ネットワークセキュリティ			2	モバイルデバイスのセキュリティ対策、	2	
セキュリティ実装技術② DBセキュリティ、アプリケーションセキュリティ			2	スマートデバイス管理他	2	
その他			関連科目			
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。			・ネットワーク基礎			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード	C-SR16	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I			講義・演習 実習	対面 メディア	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	120	4	上杉 徳彦	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		サーティファイ C 言語プログラミング能力認定試験 3 級～2 級受験に向けた知識の習得				
思考力・判断力・表現力		集中力・持続力・創造性・計画性等が必要。				
学びに向かう力		自らの持つ知識の総力を投じて取り組むことが大切な科目。 プログラムが正常に動いた時に得る達成感を目指して取り組もう。				
授 業 の 概 要						
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視する。 確認テストや実習問題、テキストの問題を確実に解いていくことで実力が身につく。 常に「何故そうなるのか」という気持ちを持ち、自分でしっかりと考え、理解することが大切。						
成 績 評 価 基 準						
中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。					筆記試験 課 題	50% 50%
使用テキスト・教材						
※单元ごと演習課題を実施する。						
授業内容・授業計画						
		時間数			時間数	
C 言語とは (特徴、コーディング)		4	getchar()関数と putchar()関数		2	
画面への出力 (printf()関数)		6	ビット演算 (論理演算、シフト演算)		4	
キーボードからの入力 (scanf()関数)		4	配列 (一次元、二次元、配列操作等)		10	
数値計算 (代入、算術演算、複合演算子)		2	ポインタ		12	
異なるデータ型の計算 (キャスト演算等)		2	アドレスを受け渡す関数		4	
if 文 (比較演算子、if 文のネスト)		4	ポインタチェック問題		4	
論理演算子		2	構造体		20	
反復 (while 文、do～while 文、for 文)		8	プリプロセッサ		4	
多分岐選択 (else if 文、switch 文)		4	共用体		4	
break 文と continue 文		2	列挙型		2	
ここまでのまとめと演習		4	ファイル処理・操作		4	
実習問題 (制御構造)		4	まとめと演習		4	
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-SR22
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
プログラム言語Ⅱ			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	90	3	石野 真明 内田 正章	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		1年次でC言語を学習しており、共通する部分は確認にとどめ、Java 言語特有の扱いを中心に授業を行う。				
思考力・判断力・表現力		オブジェクト指向設計を実現できるプログラム言語であり、クラスの扱いなど理解してもらいたい。				
学びに向かう力		サンプルプログラムを自身で入力し動きを確認したのち、演習プログラムを作成してもらいたい。				
授 業 の 概 要						
この授業は2年次に行うので、C言語と共通な部分は確認する程度で行い、Java 言語独特の部分を中心に学習する。						
成 績 評 価 基 準						
元ごとに確認用の演習を行う。この演習課題はすべて提出する。また学期末にペーパー試験を行う。ペーパー試験の結果と演習課題の内容により評価する。					筆記試験	50%
					課 題	50%
使用テキスト・教材						
すっきりわかる Java 入門 (インプレス)						
授業内容・授業計画						
			時間数			
Eclipse のインストール			4	カプセル化	8	
キー入力、乱数の発生			6	継承	10	
繰り返し構文、制御構文、			6	抽象クラス	10	
配列、拡張 for 文			4	インタフェース	6	
メソッドの利用			10	多態性	4	
複数クラスを用いた開発			4	例外処理	8	
インスタンスとクラス			10			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算				科目コード	C-SR17
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
オブジェクト指向設計			講義・演習	対面	コンピュータ科
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	4	浅田 豊子
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		オブジェクト指向設計についてプログラムと設計を対応させながら学習する。			
思考力・判断力・表現力		UMLを用いた設計方法を学習する。			
学びに向かう力		UMLはastahを用いるので、使用方法を習得してもらいたい。			
授 業 の 概 要					
講義と演習により授業を実施する。 UMLについてはastahを用いて作成する。					
成 績 評 価 基 準					
授業で行う演習と期末試験で評価する。					筆記試験 50% 課 題 50%
使用テキスト・教材					
ゼロからわかる UML 超入門 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
オブジェクト指向とは			2	コミュニケーションズとシーケンス図	4
モデルとは			2	汎化と継承について	2
UMLの責務について			2	抽象クラスについて	2
クラスとは			2	多態性について	2
クラスとインスタンス			2	インタフェースについて	2
オブジェクト図とクラス図			2	ユースケース図について	2
多重度について			2	設計演習	26
astahを使ってクラス図、オブジェクト図を作成する			2		
クラスをプログラムに展開する			4		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-SR18
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
システムイノベーション システム開発演習			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	岡部 泰幸	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		身近なテーマを題材に、設計からプログラミングまで行う。				
思考力・判断力・表現力		小規模ながら実際にシステム開発を行うことで、システム開発の全体像を理解してもらいたい。				
学びに向かう力		グループに分かれて行うので、グループ内でのコミュニケーションを十分取ってもらいたい。				
授 業 の 概 要						
1年次の学習の総まとめとして位置付けている。画面設計、プログラム設計、ファイル設計など行い、それに基づいてC言語でプログラムを作成する。さらにプログラムのデバッグも行う。						
成 績 評 価 基 準						
システムの設計書、プログラム、プレゼンテーションにより評価する。					設計書	34%
					プログラム	33%
					発 表	33%
使用テキスト・教材						
オリジナルテキスト「システム開発演習」						
授業内容・授業計画						
システム設計			時間数			
プログラミング、テスト			20			
プレゼンテーション			36			
			4			
その他				関連科目		
				システム開発、プログラム言語 I		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SR19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
システム開発総合演習			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	吉田 文昭 石野 真明	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		基本設計ができている題材を使い、概要設計、詳細設計、実装する工程までグループで行う。				
思考力・判断力・表現力		システム開発のかんりの工程を体験すること、またグループで作業を行うことでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。				
学びに向かう力		グループで行うので、メンバーの一員として責任をもって取り組んでもらいたい。				
授 業 の 概 要						
基本設計ができているテーマを使い、概要設計、詳細設計を経て、プログラミングまで行う。設計手順はウォーターフォールモデルに従うが、設計はオブジェクト指向設計に従う。						
成 績 評 価 基 準						
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。					レポート	20%
					課 題	60%
					日常評価	20%
使用テキスト・教材						
オリジナルテキスト「システム開発演習」						
授業内容・授業計画						
			時間数			
要求定義			4			
シナリオ定義			4			
基本設計			4			
外部設計			12			
内部設計			12			
プログラム設計			8			
プログラミング			16			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	2025 年度
時間数は45分換算				科目コード	C-SR20
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ウインドウ プログラム基			講義・演習	対面	コンピュータ科
Windows プログラム基礎					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	上杉 徳彦 内田 正章
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)					
知識・技能		C#の基本を習得する。			
思考力・判断力・表現力		C#で簡単な Windows アプリケーション開発ができる。			
学びに向かう力		自由製作課題があるのでしっかり取り組んでももらいたい。			
授 業 の 概 要					
授業は教科書、演習中心に行う。 最後に課題制作を実施する。					
成 績 評 価 基 準					
提出課題の提出状況、出欠席状況で評価する。					課 題 50% 日常評価 50%
使用テキスト・教材					
ゴールから始める C# (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
基本文法を覚えよう①			時間数	4	GUI のアプリ、プロジェクト、2
C#を書くための基本、値と変数の使い方					2
基本文法を覚えよう② 計算の基本			2	ツールボックス、Label 配置、プロパ	
値の計算				ティの設定、ボタン	
基本文法を覚えよう③ 計算の基本			2	ウインドウを使ったアプリ制作③	2
キャストって何				イベントの設定、Click イベント、入力	40
オブジェクト指向ってなに			2	フィールド	
クラスの機能 静的クラス、抽象クラス				GameObject クラス	2
ウインドウを使ったアプリ制作①			2		
フォームの基本を覚えよう					
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。			プログラム言語Ⅰ、プログラム言語Ⅱ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SR21	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ネットワーク技術応用 ネットワーク設計演習			講義・演習	対面 メディア	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	60	2	吉田 文昭		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		PHP の基本構文を学習した後、データベースを使った Web サイトの構築を行う。フォーム入力データのファイル保存、DB の構築・連携と SQL 文を用いたデータ操作ができるようになることを目的とする。					
思考力・判断力・表現力		これまで蓄えてきた知識・技術を結集して動的 Web サイトの構想を計画的に実現する総合力を身につける。					
学びに向かう力		卒業研究を念頭に作品作りへの意欲と実行力が求められる。					
授 業 の 概 要							
HTML に動的な処理を加えるうえで、PHP は必須の言語である。前半の基本構文を確実に理解しておかないと、課題制作が難しくなるため、確実に理解することが求められる。PHP を習得することで、Web アプリケーション開発を行うための知識・技術を学ぶ。							
成 績 評 価 基 準							
例示課題及び制作課題の提出、出欠席状況で評価する。						出 欠 席	20%
						例示課題	20%
						制作課題	60%
使用テキスト・教材							
よくわかる PHP の教科書 [PHP7 対応版] (マイナビ出版) 担当教員が準備した資料							
授業内容・授業計画							
	時間数		時間数			時間数	
PHP の環境構築	2	ファイルのアップロード				2	
文字列の表示	1	アンケートフォーム				8	
変数	1	制作課題：アンケートフォーム				10	
文字列結合	1	データベースの構築				4	
条件分岐	2	SQL 文				4	
繰り返し	2	SQL を用いたメモ機能制作				10	
配列	2	例示課題のチェック及び提出				4	
ユーザ定義関数	1						
POST を使った処理	2						
SESSION を使った処理	2						
COOKIE を使った処理	2						
その他				関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。				・ 卒業研究			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR24	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
シ ョ ン ト ト ケ イ カ ク イ 情報特別講義 I			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	120	4	上杉 徳彦 岡部 泰幸		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す科目である。これまでに学習したいろいろな科目の集大成になる。					
思考力・判断力・表現力		資格試験に備え、覚えるべき項目は覚え、思考力が問われる項目は思考力をアップさせてもらいたい。					
学びに向かう力		過去の合格実績からみると、積極的に取り組むことで合格につながるので、そのような気持ちで取り組んでもらいたい。					
授 業 の 概 要							
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行う。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の定着度を確認する。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席及び模擬試験結果、検定試験結果で評価する。						試験結果	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				
※基本情報技術者試験の場合							
疑似言語とアルゴリズム			20				
情報セキュリティ			20				
ハードウェア・ソフトウェア			20				
データベース・ネットワーク			20				
ストラテジ			12				
マネジメント			20				
模擬試験			8				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SR24
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ジョブ対応情報科 情報特別講義Ⅱ			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	120	4	吉田文昭 鈴木孝昌 小針恒雄 石野真明 中村知枝美 内田正章	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す科目である。これまでに学習したいろいろな科目の集大成になる。				
思考力・判断力・表現力		資格試験に備え、覚えるべき項目は覚え、思考力が問われる項目は思考力をアップさせてもらいたい。				
学びに向かう力		過去の合格実績からみると、積極的に取り組むことで合格につながるの、そのような気持ちで取り組んでもらいたい。				
授 業 の 概 要						
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行う。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の定着度を確認する。						
成 績 評 価 基 準						
出欠席及び模擬試験結果、検定試験結果で評価する。					試験結果	50%
					日常評価	50%
使用テキスト・教材						
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)						
授業内容・授業計画						
※基本情報技術者試験の場合 疑似言語とアルゴリズム 情報セキュリティ ハードウェア・ソフトウェア データベース・ネットワーク ストラテジ マネジメント 模擬試験			時間数			
			20			
			20			
			20			
			20			
			12			
			20			
			8			
その他				関連科目		
				情報特別講義Ⅰ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-SR25	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
シヨウホクトケイカウギサシ 情報特別講義Ⅲ			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	120	4	吉田文昭 鈴木孝昌 小針恒雄 石野真明 中村知枝美 内田正章		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す科目である。これまでに学習したいろいろな科目の集大成になる。					
思考力・判断力・表現力		資格試験に備え、覚えるべき項目は覚え、思考力が問われる項目は思考力をアップさせてもらいたい。					
学びに向かう力		過去の合格実績からみると、積極的に取り組むことで合格につながるので、そのような気持ちで取り組んでもらいたい。					
授 業 の 概 要							
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行う。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の定着度を確認する。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席及び模擬試験結果、検定試験結果で評価する。						試験結果	50%
						日常評価	50%
使用テキスト・教材							
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)							
授業内容・授業計画							
※基本情報技術者試験の場合 疑似言語とアルゴリズム 情報セキュリティ ハードウェア・ソフトウェア データベース・ネットワーク ストラテジ マネジメント 模擬試験			時間数				
			20				
			20				
			20				
			20				
			12				
			20				
			8				
その他				関連科目			
				情報特別講義Ⅱ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
				科目コード		C-SS01	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
セレクトプログラム 制御プログラム			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	選択	60	2	和田 弘		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		マイコン利用による制御プログラムの作成方法を学ぶ。					
思考力・判断力・表現力		自分で開発企画を行い、結果を発表する。					
学びに向かう力		ホームページに授業の進め方が示してあり、それを中心に行う。					
授 業 の 概 要							
電子回路の基礎知識を学び、ハード回路の接続もできるようにする。 そのハードウェアを制御するプログラムを構築する。 プログラムの大きさにかかわらず、自分の考えを構築できることがポイントになる。							
成 績 評 価 基 準							
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、等を総合評価した上で決定する。						課 題 100%	
使用テキスト・教材							
エントリーキット PC（各自持参要）にて下記 HP を中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				
授業内容・目標確認・教材確認			2	距離の測定	2		
電子工作／部品／回路の基礎>			4	サーボモーター制御	2		
環境設定して使ってみる			4	液晶ディスプレイ制御	2		
Arduino だけで使ってみる			4	I 2 C デバイス	2		
回路設計して回路を作る			6	電子サイコロを作る	4		
LED制御			6	ラーメンターマーを作る	4		
色の制御			2	時計を作る	4		
音を制御			2	メロディ演奏	6		
明るさの制御			2				
温度測定			2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SS02
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
Office アプリケーション			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	60	2	清 慶治	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		課題作成をとおして、業務で使えるベルの Access のアプリケーションを作成する				
思考力・判断力・表現力		Access 単体でここまでできるんだということを体感してもらいたい。				
学びに向かう力		作り方はテキストに書いてあるので、自分でコツコツ作成してもらいたい。				
授 業 の 概 要						
テキストに基づいて演習を行う。 最後に課題制作を行う。						
成 績 評 価 基 準						
授業中に作成したデータベースと課題により評価する。					レポート	80%
					課 題	20%
使用テキスト・教材						
Access によるシステム構築問題集 (ムゲンダイ出版)						
授業内容・授業計画						
			時間数			
データベースについて、Access の使い方			2	請求書の作成	2	
データベース、テーブルの作成方法			2	月ごとに売り上げをまとめる	2	
顧客テーブルの作成			2	Excel、Word との連携	2	
顧客情報フォームの作成			2	メニューの作成	2	
顧客フォームを使って情報登録			2	課題作成 1 住所管理システム開発	8	
商品テーブルの作成			2	課題作成 2 メディア管理システム開発	8	
商品情報のフォームの作成			2	課題作成 3 売上管理システム開発	8	
注文テーブルの作成			2	課題作成 4 成績管理システム開発	10	
リレーションシップ			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		C-SS03	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ウェブアプリケーション Web アプリケーション			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	選択	60	2	中村 知枝美		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		PHP でデータベースを使った Web サイトの構築を行う。データベースの構築・連携と SQL 文を用いたデータ操作ができる。					
思考力・判断力・表現力		閲覧する側の使いやすさや見やすさを考慮する。					
学びに向かう力		課題製作をとおして Web 製作技術を習得する。					
授 業 の 概 要							
・ PHP を習得することで、Web アプリケーション開発を行うための知識・技術を学ぶ。 ・ HTML に PHP や JavaScript を追加することによって、ユーザが使いやすく見やすい Web アプリケーションを作成できるようになる。							
成 績 評 価 基 準							
例示課題及び政策課題の提出					例示課題	30%	
					課 題	70%	
使用テキスト・教材							
JavaScript ではじめるプログラミング超入門 (技術評論社) 誰もがあきらめずにすむ PHP 超入門 (SB クリエイティブ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. PHP				(繰返し、条件分岐、配列)			
PHP 環境構築			2	イベント処理			6
PHP 基礎 (表示、変数、関数、分岐)			4	一定時間ごとの処理			4
送受信 (GET と POST)			2	JavaScript 関数			8
ファイル操作 (読み込み、書き込み)			2	(Math、Date、String など)			
データベース構築			2	j Query			4
SQL 文			4				
SQL を用いた SNS 制作			4	3. 課題制作			10
				Web アプリケーション制作			
2. JavaScript							
JavaScript 基礎			8				
その他				関連科目			
				HTML			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
				科目コード		C-SS04	
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ヒョウサンアプリケーション 表計算アプリケーション			講義・演習	対面	コンピュータ科		
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	選択	60	2	吉田 文昭		
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)							
知識・技能		本来は手作業で行うべき Excel の操作を自動で実行してくれる機能であるマクロを、Excel VBA というプログラミング言語で記述することを学習する。					
思考力・判断力・表現力		「マクロの記録」のようにサポートしてくれる機能が豊富なので比較的容易にプログラムが進められる。アイデア次第で活用範囲を広げてほしい。					
学びに向かう力		どこで何の仕事をするにしても必要不可欠な EXCEL において煩雑な操作を自動化できる知識はメリットが大きい。ぜひ意欲的に習得を。					
授 業 の 概 要							
授業では毎回、Excel VBA の基本知識を学ぶと共に、様々な課題に取り組むことで実践的なプログラミング技術を習得する。							
成 績 評 価 基 準							
提出課題により評価する。						課 題	100%
使用テキスト・教材							
Excel VBA 本格入門 (技術評論社)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
基本操作とデモプログラム紹介			6	課題作成 (繰り返し処理)			4
基本構文を理解			2	対話型のマクロ			2
ブックとシートを操作			2	課題作成 (対話型のマクロ)			4
セルを VBA で操作			2	ユーザー定義関数			2
ユーザーフォーム			2	文字列を操作			2
ユーザーフォーム			2	日付や時刻を操作			2
課題作成 (マクロの記録)			4	グラフを操作			2
変数			2	課題作成 (創作)			6
課題作成 (変数)			4				
条件分岐			2				
課題作成 (条件分岐)			4				
繰り返し処理			2				
その他				関連科目			
				表計算基礎、表計算応用			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-SS05
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
スマホアプリケーション			講義・演習	対面	コンピュータ科	
スマホアプリケーション						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	60	2	石野 真明	
授 業 の 目 的 ・ 目 標（科目のねらい）						
知識・技能		Android用アプリの作成方法を基本的な内容からデータベースを使うレベルまで学習する。				
思考力・判断力・表現力		いろいろな要素がかかわってAndroidアプリが作成されており、その関係性を確認してもらいたい。				
学びに向かう力		アプリを動かすまでにかなりの労力が必要であるが、それを実体験してもらいたい。				
授 業 の 概 要						
はじめに個人のパソコンにAndroid Studio をインストールし、各種環境設定を行う。その後、画像の表示方法、音声の再生方法、画面遷移の方法やファイル、データベースの使い方など各種アプリを作成しながら学習する。						
成 績 評 価 基 準						
課題提出により評価する。					課 題	100%
使用テキスト・教材						
いきなりプログラミング Android 開発（翔泳社）						
授業内容・授業計画						
			時間数			
Android Studio のインストール			4			
フラワーシミュレーターの作成			8			
写真集の作成			8			
音データの再生			8			
クイズアプリの作成			8			
図鑑アプリの作成			12			
データベースを使う			12			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-SS06
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
キャドオペレーション CAD オペレーション			講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	60	2	佐野 佳久	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		AutoCAD の基本的操作を中心に学習する。コマンドや三面図、ブロック、レイアウト等について学習する。				
思考力・判断力・表現力		自分でCAD図面を作成する能力を身に付けてもらいたい。				
学びに向かう力		基本的に個人で行う内容だが、いくつか課題を出すので、それを作成することが中心となる。				
授 業 の 概 要						
機械 CAD の基本的な使い方を学習する。						
成 績 評 価 基 準						
図形の大きさに合わせた用紙サイズ・尺度選択し、三面図が描く。					課 題	100%
使用テキスト・教材						
オリジナル教本						
授業内容・授業計画						
			時間数			
機械製図の概要			2	レイアウト	6	
Auto CAD の概要			4			
CAD の基本操作			6			
CAD の基本操作			8			
テンプレート			2			
修正コマンド			8			
一面図			6			
二面図			6			
三面図他			6			
縮尺・倍尺			2			
ブロック			4			
その他				関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-SS07
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ソフツィアウヰヤン			実習	対面	コンピュータ科	
卒業研究						
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	選択	120	8	鈴木 孝昌、和田 弘 石野 真明、吉田 文昭	
授 業 の 目 的 ・ 目 標 (科目のねらい)						
知識・技能		学生自身でテーマを決め実施するので、自分たちで課題を発見し解決してもらいたい。				
思考力・判断力・表現力		これまでの学習は決められたテーマに沿って学習してきたが、自分で問題を解決することを経験してもらいたい。				
学びに向かう力		グループで実施することが多いので、コミュニケーションをとりながら卒業研究を進めてもらいたい。				
授 業 の 概 要						
テーマは、主に基本システム開発・応用システム開発・シミュレーションなどで、システムを作成し、それを卒業論文にまとめ発表する。						
成 績 評 価 基 準						
作成したシステム、卒業論文、発表により評価する。					システム	60%
					論 文	20%
					プレゼン	20%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
基本設計、概要設計、詳細設計 システム作成、論文作成			時間数			
			40			
			80			
その他				関連科目		

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
				科目コード		C-SS08	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
インターンシップ			実習	企業	コンピュータ科		
インターンシップ							
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択	120	8	石野 真明 吉田 文昭		
授業の目的・目標（科目のねらい）							
知識・技能		入社後、自分が行う仕事内容についてあらかじめ理解する。また内定先企業の業務内容について理解する。					
思考力・判断力・表現力		入社後の対応力を身に付けてもらいたい。					
学びに向かう力		企業内の課題に取り組むことで自分が習得すべき内容を確認する。					
授 業 の 概 要							
企業のインターンシップである。							
成 績 評 価 基 準							
出欠席と企業側の評価による。					レポート	20%	
					課 題	20%	
					日常評価	60%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
インターンシップ			時間数 120				
その他				関連科目			